

第141回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年7月20日（水）14:00～14:13
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

(1) 新型コロナウイルス感染者の状況等について

(保健福祉部長)

5ページ、資料1をお願いいたします。

【資料1】

昨日、1日当たりの新規陽性者数としては過去最多となる958人が確認され、これまで最多であった731人を大きく上回るなど、県内での感染が急速に拡大しております。

4ページ、7月19日現在の療養者の状況です。

入院者が303人、うち重症者が1人となっています。

入院者数は、3月2日以来、4ヶ月ぶりに300人を上回っております。

療養者数は、合計で4,998人となっております。

次に、6ページ、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は221.15人で、5月13日以来、おおよそ2ヶ月ぶりに200人を上回り、これまで最多だった228.19人に近づいております。

次に、8ページ、病床使用率は40.5%で、病床使用率が4割を超えるのは、3月2日以来となります。

次に、10ページ、人口10万人当たりの療養者数は272.65人で、今月に入ってから急速に増加し、大型連休後のピークだった277.72人に近づいております。

次に、13ページ、保健所所在市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

南相馬市が300人を超え、福島市、須賀川市、いわき市が200人を超えているほか、それ以外の市においても200人に近づいております。

次に、14ページ、保健所所在市を除く各市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

相馬市において13日ぶりに400人を下回ったものの、引き続き高いレベルで推移しているほか、二本松市、本宮市において200人を上回り、それ以外の市においても100人を上回っております。

次に、15ページ、モニタリング指標です。

「入院率」(6.1%)、「人口10万人当たりの療養者数」(272.65人)、

「人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数」(221.15人)、

「PCR陽性率」(26.8%)、こちらは18日の値ですが、これまでで最多となっており、これらがレベル3、

「病床の使用率」(40.5%)、

「感染経路不明者の割合」(55.6%)、こちらも18日の値ですが、レベル2、

「重症者用の病床使用率」(2.2%)がレベル1となっております。

最後に、17ページ、資料3をお願いします。

無料検査の期間の延長についてです。

感染不安を感じる県民を対象とした無料検査について、「3」の期間のとおり、8月31日まで延長いたします。

検査実施場所は県内208箇所に整備しており、県ホームページに掲載しております。

なお、「6 その他」に記載のとおり、旅行・帰省や、イベント参加等の際に必要な検査を無料化する「定着促進事業」についても、8月末まで実施いたします。

説明は、以上です。

(金光教授)

福島県も、あるいは医療従事者も、今、苦しくて、辛くて、不安を抱える入院患者を1人でも少なくしようというのが、最終的な目的だと思います。

そのような中で、「オミクロン株は軽症だから入院はしない」というような情報がすごく流布されているように思います。

本県において、重症化すると言われたデルタ株の流行の時に、最悪な状態で入院患者が300~400名でした。

現在はどうかと言いますと、既に300名を超える入院患者がおられます。

こういったことを考えると、我々が何を今なすべきか。

感染対策では少し前に立ち戻ってしっかりやる、あるいは、県や行政の制限がどうのこうのではなく、個々人が自分の行動に責任を持つべき時期に来ていると思います。

(2) 福島県感染拡大警報について

(知事)

福島県において、昨日（19日）、これまでで最多となる958人の新規陽性者を確認しました。

さらに、本日は、現時点で既に700人を超えており、最終的に1,000人を超える可能性も十分あります。

7月に入って、オミクロン株BA.5系統への置き換わりが進んだことなどにより、県内の各地域で感染が急拡大しており、病床の使用率も4割を超えるなど、ここに来て医療提供体制への負荷が厳しさを増しています。このため、更なる感染対策の徹底が必要です。

これから夏休みを迎え、多くの人と接する機会が増えることから、新規感染者数が急速に拡大するおそれがあります。そこで、更なる感染拡大を抑えるため、「福島県感染拡大警報」を発出します。

県民の皆様には、熱中症にも注意をしながら、次の八つの感染対策をとっていただくようお願いします。

一つ目は、「基本的な感染対策の再点検と徹底」です。

これまでも、場面に応じたマスクの着用や感染リスクの高い場面における三密の回避など、基本対策の徹底をお願いしてきましたが、感染が急速に拡大しているため、今一度、対策の再点検をお願いします。

また、オミクロン株BA.5系統は、これまで主流であったBA.2系統よりも感染力が高いと言われているため、症状がある場合は、外出を控え、早めに医療機関を受診されるようお願いします。

二つ目は、「陽性になった場合の備え」です。

家庭内で陽性者が出た場合に備えて、生活動線の分け方を事前に確認するとともに、数日分の食料や薬などを備蓄するようお願いします。

三つ目は、「速やかなワクチン接種」です。

ワクチンを接種することで、発症予防や重症化予防などの効果が期待されることから、まだお済みでない方は、速やかな接種を検討されるようお願いします。

四つ目は、「検査の更なる活用」です。

これからの時期、帰省等で移動する機会も多くなると思いますが、感染不安のある方、御高齢の方と面会する予定がある方は、積極的に無料検査を活用するようお願いします。

す。

五つ目は、「効果的な換気」です。

高温の日が続いていることから、屋内で過ごす時間も増えています。

窓を長時間閉めた状態でエアコンを使用していると、感染リスクが高まります。機械換気による常時換気や、二方向の窓開け換気などにより、効果的に必要な換気量を確保するようにしましょう。

また、パーティションを使用している場合は、空気の流れを遮らないよう、配置を見直してください。

六つ目は、「移動時の注意喚起」です。

旅行や帰省で移動される際は、移動先の感染状況を把握し、混雑する場所や感染リスクの高い場所への移動は十分注意しましょう。

また、移動中の車内でもマスクを正しく着用し、換気を行うなど対策を徹底しましょう。

七つ目は、「子どもと高齢者の感染対策」です。

これから夏休み期間を迎え、お子様たちが家庭や部活動、放課後児童クラブで過ごす時間が増えることにより、感染リスクが高まるおそれがありますので、感染対策をしっかりとっていただくようお願いいたします。

また、高齢の方や基礎疾患のある方が感染すると重症化するおそれがありますので、感染リスクのある行動は控えていただくとともに、周囲の方も感染させないよう配慮した行動をとっていただくようお願いいたします。

八つ目は、「医療を守る対策」です。

医療機関において感染が拡大すると医療体制がひっ迫するおそれがありますので、医療従事者等に感染を広げない行動をとっていただくようお願いいたします。

全国的に感染者数が増加しており、本県においても、昨日、これまでで最多となる新規陽性者数を確認するなど、感染が急拡大していることから、今般、「福島県感染拡大警報」を発出いたしました。

夏休みが始まり、多くの人と接する機会が増えます。熱中症にも注意をしながら、県民の皆様お一人お一人が危機感を持って感染対策に取り組んでいただくことが重要です。県民の皆様においては、引き続きの御協力をお願いいたします。

各部局、各地方本部、各保健所においては、感染急拡大に対する強い危機意識を持って、県民の皆様の命と健康を守るため、迅速・的確に対応を進めてください。